

事 務 連 絡

令和元年12月20日

各 位

石狩管内教育課程企画委員会委員長

令和2年度継続使用する小学校用教科書にかかわる対応例について

このことについて、継続使用本については、採択替の有無にかかわらず、新版の教科書ではなく現在給与している教科書を継続して使用することとされており、令和2年度は給与されないこととなっております。その際、新学習指導要領の完全実施に伴い、改訂された主な内容について、指導上の配慮が必要となります。

つきましては、別紙のとおり、石狩管内教育課程企画委員会で、新学習指導要領に基づいた教育課程編成のための「対応例」を作成しましたので、各校における教育課程編成の参考資料の一つとしてご活用ください。

令和2年度継続使用する小学校用教科書にかかわる対応例

【令和2年度継続使用する教科書】

- 社会3・4年 ○地図帳4～6年 ○生活1・2年 ○家庭5・6年
 ○図画工作1・2年／3・4年／5・6年 ○保健3・4年／5・6年

○各教科ともに、目標や内容が「資質・能力の3つの柱」に沿って構成されていることから、それに基づく指導と評価が求められることに留意すること。

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、言語活動や問題解決的な学習等の充実、各教科等の見方・考え方を働かせること等が求められていることを踏まえて、指導計画の工夫を図ること。

■社会

相当学年	新学習指導要領で改訂された主な内容	対応例
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・「災害」のうち、「自然災害から人々を守る活動」が独立。（火災と事故は第3学年で学習。） ・地震災害，津波災害，風水害，火山災害，雪害などの中から，過去に県内で発生したものを選択して取り上げる。 ・その際，政治の働きに関心を高めるようにすることを重視して，県庁や市役所の働きなどを中心に取り上げ，防災情報の発信，避難体制の確保などの働き，自衛隊など国の機関との関わりを取り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助教材が配布される予定。令和2年度当初に副読本が改訂され，配布される市町村においては，補助教材と副読本を併用して指導する。令和2年度当初に副読本が改訂されない市町村においては，補助教材や副読本及び関連する地域の題材を取り上げて指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「飲料水，電気，ガスを供給する事業」において「安全で安定的に供給」を，「廃棄物を処理する事業」において「衛生的な処理」が示されている。また，現在に至るまでに仕組みが計画的に改善され，公衆衛生が向上してきたことに触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業等において安全確保に努めていることや必要な量をいつでも使えるよう確保に努めていること，ゴミ処理事業等において地域の生活環境に配慮しながら安全かつ衛生的に処理していることを取り扱う。また，上水の仕組み，ゴミや下水の処理の仕組み等が計画的に改善されてきたことで，「公衆衛生の向上」に役立ってきたことに触れる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・先人の働きに関する内容については，内容の取扱いにおいて，これまでの「開発，教育，文化，産業など」に「医療」を追加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択して取り上げるものであることから，地域の実態に即し，副読本で取り上げている先人について指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の伝統や文化に関する内容の取扱いにおいて，県内の主な文化財や年中行事が大まかに分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで「地域の文化財や年中行事」が取り扱われてきた。教科書や副読本，地域の題材を取り上げて指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の特色ある地域に関する内容の取扱いにおいて，これまでの「自然環境，伝統や文化などの資源を保護・活用している地域や伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域」に「国際交流に取り組んでいる地域」を追加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「国際交流に取り組んでいる地域」が必須となったことから，教科書や副読本，地域の題材を取り上げて指導する。姉妹都市交流も取り上げられる。

■生活

相当学年	新学習指導要領で改訂された主な内容	対応例
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考える学習の際に、「見付ける」「比べる」「たどる」に、「試す」「見通す」「工夫する」を追加。（1・2年共通） 	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の内容の取扱いについての配慮事項として示されている。例示されている学習活動を踏まえ、各学習活動の際に、指導方法を工夫する。
	<ul style="list-style-type: none"> 動物を飼ったり植物を育てたりする活動において、「関心をもって働きかける」を追加。 	<ul style="list-style-type: none"> 該当する単元において、考えたり話し合ったりする場面や活動する場面を設定して指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> 公共物や公共施設を利用する活動において、「それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができる」を追加。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動において、「相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができる」を追加。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の生活や成長を振り返る活動において、「自分のことや支えてくれた人々について考えることができる」を追加。 	

■ 図画工作

相当学年	新学習指導要領で改訂された主な内容	対応例
第2学年 第4学年 第6学年	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、児童が〔共通事項〕として示されているアとイとの関わりに気付くようにすることを新設。 〔共通事項〕 【第1学年及び第2学年】 ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと。 イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。 【第3学年及び第4学年】 ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。 イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。 【第5学年及び第6学年】 ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。 イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で〔共通事項〕として示されている内容はこれまでとほぼ変わらないが、アは「知識」、イは「思考力、判断力、表現等」として位置付けられるものであることに留意する。 アとイは、同時に働いたり関連して働いたりしながら、具体的な活動が行われている。そうした自分の感覚や行為によって、自分なりのイメージが生み出されることを、造形遊びをする活動や絵や立体、工作に表す活動、鑑賞する活動を通して児童が気付くように指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> 〔共通事項〕のアの指導に当たっては、次の事項に配慮することを新設。 【第1学年及び第2学年】 いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。 【第3学年及び第4学年】 形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。 【第5学年及び第6学年】 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年及び第2学年では、形には四角や丸といった形状、大きさ、長さ、線などのいろいろな種類があること、色には赤、青などのいろいろな種類があること、木材の表面のざらざらした感じ、粘土のずっしりとした重さや手になじむ感じなどのことを、活動の時間を確保して捉えられるようにする。 第3学年及び第4学年では、形の柔らかさ、色の冷たさ、色の組合せによる優しい感じ、面と面の重なりから生まれる前後の感じ、色の明るさなどのことを、活動の時間を確保して捉えられるようにする。 第5学年及び第6学年では、形そのものがもつ方向感、表面の材質感の違い、色の鮮やかさ、時間的な変化の動き、大きな建物の量感や奥行きを感じ、ものの動きやバランスなどを捉えられるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> 「A表現」の指導において、「活動の全過程を通して児童が実現したい思いを大切にしながら活動できるようにし、自分のよさや可能性を見だし、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うようにすること」を新設。 	<ul style="list-style-type: none"> 留意して指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> 「各活動において、互いのよさや個性などを認め尊重し合うようにすること」を新設。 	<ul style="list-style-type: none"> 留意して指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> 「創造することの価値に気付き、自分たちの作品や美術作品などに表れている創造性を大切にする態度を養うようにすること」を新設。 	<ul style="list-style-type: none"> 留意して指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> 学校や地域の実態に応じて、校内だけでなく、「校外に児童の作品を展示する機会を設けるなどすること」を追加。 	<ul style="list-style-type: none"> 実態に応じて対応する。

■家庭

相当学年	新学習指導要領で改訂された主な内容	対応例
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> 「家族・家庭生活」において、「家族・家庭生活についての課題と実践」が新設され、「日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できること」と示されている。2学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年間の学習のまとめの時期等に、「衣食住の生活」で学習した内容との関連を図り、課題を設定し、家庭での実践を指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> 「衣食住の生活」において、日本の生活文化の大切さに気付くことができるようにするために、季節に合わせた着方や住まい方など、日本の伝統的な生活について扱うことを追加。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書には、衣食住における伝統的な生活が「日本の伝統」として随所に掲載されており、それらを扱う。
	<ul style="list-style-type: none"> 「快適な住まい方」において、「住まいの主な働きが分かること」を追加。主として取り上げるものとして、「暑さ・寒さ、通風・換気、採光」に「音」を追加。 	<ul style="list-style-type: none"> 「10 夏をすずしくさわやかに」の学習において、主として雨や風、暑さ・寒さなどの過酷な自然から人々を守る生活の器としての働きが分かるようにする。 「10 夏をすずしくさわやかに」の学習において、「空気の温度」「風通し」を調べる活動に加えて、「音の大きさ」を騒音計などで調べたり、音が大きいと感じる場面について話し合ったりする活動を入れる。また、季節を感じる音、時間帯や場所に合わせた生活音の気配り等について考えさせる。
	<ul style="list-style-type: none"> 「生活を豊かにするための布を用いた製作」において、「日常生活で使用する物を入れる袋など」の製作を扱う。（題材指定） 	<ul style="list-style-type: none"> トートバッグ等の製作を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 「栄養を考えた食事」において、献立を構成する要素として「主食、主菜、副菜」を追加。 	<ul style="list-style-type: none"> 「12 まかせてね今日の食事」の学習において、「主に体を作るものになる食品」が主菜、「主に体の調子を整えるものになる食品」が副菜であることを指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> 「食事の役割」において、「食事の仕方」を追加。 	<ul style="list-style-type: none"> 「12 まかせてね今日の食事」において、食べ方のマナーを指導。
	<ul style="list-style-type: none"> 調理実習に関わり、「食物アレルギーについても配慮すること」を追加。 	<ul style="list-style-type: none"> 留意して指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> 「家族や地域の人々との関わり」において、幼児又は低学年の児童、高齢者など異なる世代の人々との関わりについても扱う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「14 あなたは家庭や地域の宝物」の学習において、地域に暮らす小さな子ども（幼児や低学年児童）や高齢者など、様々な人々との関わりを調べたり、工夫できることを考えたりする活動を入れる。

■保健

相当学年	新学習指導要領で改訂された主な内容	対応例
第6学年	・生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防として、「適切な運動」を追加。	・該当ページにおいて指導。（イラスト及び文章で記載あり）
	・「けがや病気からの回復についても触れる」ことを追加。	・「感染症の予防」の学習において、体の抵抗力や早期の治療により回復が早まることに触れる。